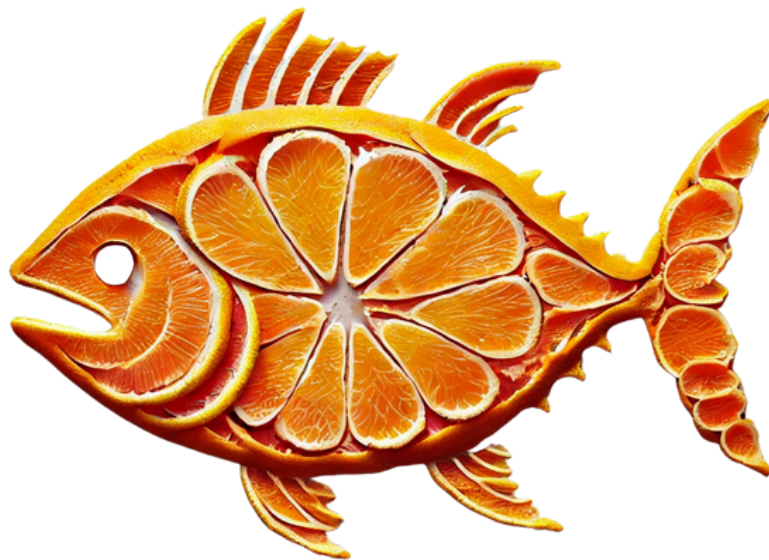


令和6年度  
静岡県立大学健康イノベーション教育プログラム

# 清水のミカンは マグロで育つ

循環型社会における『意味のイノベーション』



本プログラムでは、さまざまな分野で活躍している方々をお呼びし、実際の事例や事業成果を基に、将来の静岡の姿について一緒に考えます。イノベーションを起こすために必要な情報や考え方を提供します。

## 開催日時

11月26日(火) 17:00~19:30

## 開催場所

静岡県立大学 草薙キャンパス  
看護学部棟4階 13411教室  
(静岡市駿河区谷田52-1)

※駐車場のご用意はありません。公共交通機関のご利用にご協力ください。

## 定員

30名(先着順)

## 対象

社会人・学生

## 参加費

無料

価値観が急速に変化している現在、世界は循環型社会に向かって大きく動いています。そんな中「ブリコラージュ」と「意味のイノベーション」が注目されており、今回これらのキーワードをテーマに学び合います。



## 第1部 事例紹介



テーマ

### 清水のミカンがマグロで育つ

清水のミカンとマグロの歴史的繋がり、そこから生まれた持続可能な循環型事業の事例を、動画資料なども活用して紹介します。

青木 文優 (16代目 青木農園 園主)

伊豆川 剛史(伊豆川飼料株式会社 取締役)

ファシリテーター：阪口 瀬理奈 / コメントーター：越前屋 侑太

## 第2部 パネルディスカッション

テーマ

### 循環型社会における『意味のイノベーション』を考える

循環型社会や持続可能な社会づくりに向けて『意味のイノベーション』をテーマに、今後の社会におけるイノベーションのあり方について考えます。

青木 文優 (青木農園)

/ 伊豆川 剛史(伊豆川飼料株式会社)

谷 晃(食品栄養科学部 教授)

/ 伊藤 圭祐(食品栄養科学部 准教授)

酒井 敏(グローバル地域センター 特任教授 副学長)

ファシリテーター：原 清敬(食品栄養科学部 准教授)

## 第3部 意見交換

### グループごとに意見交換

トークセッションを受けて、参加者が考える循環型ものづくりについて、また持続可能な社会について、意見交換を行います。

【問い合わせ先】

静岡県立大学「ふじのくに」みらい共育センター

TEL : 054-264-5441

mail : kenkoshoku@u-shizuoka-ken.ac.jp

お申込はこちら

